The 29th IRSJ (2026)

寄付 広告 展示　趣意書

会長　飯田　嘉彦
(北里大学医学部眼科学　診療教授)
オーガナイザー　川守田　拓志
(北里大学医療衛生学部　教授)

IRSJ 運営事務局
169-0075　東京都新宿区高田馬場 2-4-7
スタッフルームタケムラ有限会社内
TEL:03-5287-3801　FAX:03-5287-3802
E-mail:rssympo@staffroom.jp
URL: https://www.irsjws.com/

ご　挨　拶

謹啓　時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。平素は学会運営のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

IRSJ は、1996 年より日本国内における屈折矯正手術の正しい発展を目的とする学会として、年 1 度の学術講演会を開催してまいりました。29 回目にあたる今回は、第 25 回眼科臨床機器研究会との合同開催で、11 月 14 日(土)横浜シンポジアにて開催致します。

例年、諸経費の見直しと削減に努めておりますが、レクチャーを参加者全員に対して有益なものとさせて頂くためには、多くの費用がかかるのが現状です。今学会におきましても、別添予算計画書のとおり資金不足が予想されます。更なる経費の節減に努める所存ではございますが、本学会の開催に伴い、皆様のご協力とご支援を賜ります様、お願い申し上げます。お申込につきましては、メールにてご案内しています申込フォームよりお願いできますと幸甚に存じます。

末筆ながら、皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2026 年 3 月吉日

IRSJ 会長　飯田　嘉彦
(北里大学医学部眼科学)
The 29th IRSJ (2026)
オーガナイザー　川守田　拓志
(北里大学医療衛生学部　教授)

1. **会議名称**

The 29th IRSJ (2026)

2. **会 期**

2026 年 11 月 14 日（土）12：30～13：50（予定）

会 場

横浜シンポジア

〒231-0023 横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 9 階 TEL: 045-671-7151

3. **組織構成**

IRSJ 会長　飯田 嘉彦（北里大学医学部眼科学 診療教授）

The 28th IRSJ (2025) オーガナイザー　川守田 拓志（北里大学医療衛生学部 教授）

IRSJ 事務局

169-0075　東京都新宿区高田馬場 2-4-7　スタッフルームタケムラ有限会社内

TEL:03-5287-3801　FAX:03-5287-3802　E-mail:rssympo@staffroom.jp

URL: https://www.irsjws.com/

4. **開催目的**

IRSJ の母体である ISRS は 1976 年米国にて発足した「International Society of Refractive Keratoplasty」を起源とし、屈折矯正分野の先駆けであり続けてきましたが、1995 年 1 月に「International Society of Refractive Surgery」と改称し、会員誌発行やインターネットによるオンラインサービス導入など、学会組織としては新手法を取り入れた運営で組織の充実を図っているものです。この一分科会として 1996 年発足した ISRS JAPAN は、屈折矯正手術に関して、ひとりでも多くの患者の期待に応える為、そして安全確実な屈折矯正手術を実施していく為、屈折矯正手術に関する最新情報の提供・学問の発展を主旨に活動を続け、発足以来、本邦で毎年 1 回の学術集会を開催しています。2006 年にＣＬや眼内レンズなどの分野、更に屈折・調節の基礎分野を包括する目的で研究会を IRSJ（国際屈折矯正学会）と改名しました。日々進化する屈折矯正手術の最先端技術・機器の発展を踏まえ、今後の屈折矯正手術が正しく発展することに大きく貢献する学会です。

5. **プログラム**

メインテーマ：老視矯正手術

モデレーター：飯田 嘉彦（北里大学医学部眼科学)、川守田 拓志（北里大学医療衛生学部）

＜演者＞

「多焦点 IOL の術前検査」	礒村 俊也 先生(広田眼科)
「(仮) 屈折矯正手術における老視矯正」	五十嵐 章史 先生(代官山アイクリニック)
「(仮) 多焦点・EDOF IOL による老視矯正」	柴 琢也先生(六本木柴眼科)
「(仮) 眼内レンズによるモノビジョン」	横関 祐佳子先生(北里大)

パネルディスカッション

6. **収支予算書**

（収入の部）

項　　目	単価（円）	数 量	金 額（円）	小 計（円）
1.学会繰越金				0
2.参加登録料				804,000
事前登録			715,000	
当日登録			80,000	
オンデマンド			9,000	
3.広告				462,000
4.展示				207,000
5.学会負担金				500,000
6.共催セミナー				0
7.その他				1,000
8.寄付金				1,300,000
収入合計				**3,274,000**

（支出の部）

項　　目	内容	小 計（円）
1．会場費等	会場・機材・音響映像費	900,000
2．演者招聘費	旅費・宿泊費・講演料	550,000
3．会議費	ドリンクコーナー	250,000
4．印刷・制作費	封筒・抄録	715,000
5．通信費	郵送・宅急便・ＨＰ管理	70,000
6．備品・消耗品	文具・事務局備品	200,00
7．事務局費	会議・人件費・労務支援費	600,000
8．雑費	振込手数料他	30,000
9．予備費		139,000
合計		3,274,000

7. **情報公開について**

製薬企業の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼性向上のため、医療機関および医療関係者等に対する研究費、寄付、交流等の支出に関係する情報を、製薬会社が自社のウェブサイト等で公開することに伴い、貴社と本学術総会との学会共催費用に関し、貴社ウェブサイト等で公開されることに同意します。

8. **寄付金振込先**

三菱 UFJ 銀行　相模原支店　普通預金口座　1594739

ＩＲＳＪ 会長　飯田 嘉彦（アイアールエスジェイ イイダヨシヒコ）

※お振込の際、カタカナ名義には「カイチョウ」が入りません。

※ 寄付金に対する免税処置はございません。

9. 過去5年間の開催概要について

The 28th IRSJ(2025) （第28回：令和7年） 2025.11.29 横浜シンポジア
メインテーマ：白内障手術と患者満足度の科学
モデレーター：神谷 和孝（昭和医大)、川守田 拓志（北里大）
1. 「視える」への期待に応えるための術前検査とコミュニケーション
竹原 弘泰（井上眼科）
2. 高い満足度を得るための眼内レンズ度数決定 後藤 聡（大阪大）
3. 白内障手術と患者満足度の科学～満足度向上のための工夫とアプローチ～
飯田 嘉彦（ 北里大）
4. パネルディスカッション

The 27th IRSJ(2024) （第27回：令和6年） 2024.10.26 横浜シンポジア
メインテーマ： 白内障治療のベストプラクティス
モデレーター：神谷 和孝、川守田 拓志（北里大）
1. 術前検査で気を付けていること 糸川 貴之（東邦大学）
2. 眼内レンズ選択から出来ること 松島 博之（獨協医科大学）
3. 光調整レンズ(LAL)を使った症例からわかる患者が希望する術後屈折
市川 一夫（中京眼科）
4. 白内障患者の日常生活から出来ること 久保 江理（金沢医科大学）
5. パネルディスカッション

The 26th IRSJ(2023) （第26回：令和5年） 2023.11.11 横浜シンポジア
メインテーマ： Navigating Vision Improvement～眼鏡･CLの最新情報～
モデレーター：神谷 和孝、川守田 拓志（北里大）
1. 屈折矯正に必要な眼光学と眼鏡作製技能士 魚里 博（東京眼鏡専門学校）
2. コンタクトレンズによる老視矯正の今 塩谷 浩（しおや眼科）
3. パネルディスカッション

The 25th IRSJ(2022) （第25回：令和4年） 2022.11.19 横浜シンポジア
メインテーマ：Combining refractive correction
モデレーター：神谷 和孝、川守田 拓志
1. 屈折矯正法コンビネーションの必要性 藤村 芙佐子（北里大・医療衛生）
2. 眼鏡×CL 山口 昌大（順天大）
3. 眼鏡×IOL 永田 万由美（獨協医大）
4. CL×IOL 長谷川 優実（筑波大）

The 24th IRSJ (2021) （第24回：令和3年） 2021.10.16 横浜シンポジア
メインテーマ：白内障手術における老視矯正の最前線
モデレーター：神谷 和孝、川守田 拓志
1. 電子屈折力可変眼鏡 TouchFocus® 飯島 敬（北里大）
2. モノビジョン 伊藤 美沙絵（国際医療福祉大／山王病院アイセンター）
3. 多焦点IOL ～ TECNIS Synergy™～ 柴 琢也 （六本木柴眼科）
4. 3焦点眼内レンズ PanOptix®とFineVision®の臨床成績
福岡 佐知子（国分寺さくら眼科）
5. 多焦点IOL ～ LENTIS® Comfort ～ 稲村 幹夫（稲村眼科）

※いずれも眼科臨床機器研究会と合同開催

10. 予定参加者人数
約250名

プログラム　抄録集　広告

広告料金：

表４	１頁	（カラー）	132,000 円	１社	
表２	１頁	（カラー）	88,000 円	１社	
表３	１頁	（カラー）	88,000 円	１社	
後付	１頁	（白　黒）	77,000 円	２社	（税込）

発 行 部 数：　300 部　　広告規格：A4 判

印 刷 諸 費：　550,000 円

広 告 料 総 額：　462,000 円

広 告 原 稿：　お申込後の返信メールに記載の URL へアップロードしてください

申 込 締 切：　2026 年 8 月 31 日(月)

情報公開について：

本会は日本製薬工業協会、日本医療機器産業連合会等の団体が定める『企業活動と医療機関等との関係性に関する指針（透明性ガイドライン)』をはじめとする関係諸規範およびその精神に従い、医療機関等との関係の透明性に関する企業方針を理解し、本会への拠出金額等の情報公開に同意します。

【問合先】The 29th IRSJ（2026）　事務局
169-0075　東京都新宿区高田馬場 2-4-7
TEL03-5287-3801　FAX03-5287-3802　　E-mail：rssympo@staffroom.jp

機器展示出展要項

1. 出展名称：　The 29th IRSJ（2026）機器展示への出展

2. 開催日時：　2026 年 11 月 14 日（土）12：30～13：50（予定）
合同開催の第 25 回眼科臨床機器研究会は 14：00～17：00（予定）
出展時間：12：30～17：00（予定）

3. 展示会場：　横浜シンポジア ９Ｆ　レセプションスペース
〒231-0023　横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル
（みなとみらい駅線　日本大通り駅 徒歩 5 分）
TEL：045-671-7151

4. 出展費用：　１区画につきバックパネルあり ￥130,000 円　（税込）
バックパネルなし ￥77,000 円　（税込）

5. 特　　典：　機器紹介　パワーポイント　1～2 枚
学会当日のプログラム開催前と休憩時間に学会場にて映写します。
準備が難しい場合はご連絡下さい。
データ送付方法
10 月 16 日（金）までにお申込後の返信メールに記載の URL へアップロード

6. 小間仕様ほか：
① 1 小間のスペースは、間口 1800㎜×奥行 600㎜ です。
② 展示台一台（間口 1800㎜×奥行 600㎜・白布付）を用意します。
③ 2 口コンセント標準装備。(2 口合計 500W 程度。それ以上は要相談)
④ 1 ㎡あたり 300kg を超える重量の機器は別途ご連絡下さい。
⑤ 小間割は会長に一任願います。
⑥ 事前説明会はございません。

7. 申し込み方法：ご案内メールに記載のフォームよりお申込ください。
＜振込先＞
銀 行 名：三菱 UFJ 銀行　相模原支店
口座番号：(普) 1594739
口座名義：ＩＲＳＪ 会長　飯田 嘉彦
（アイアールエスジェイ イイダヨシヒコ）
※カタカナ名義には「カイチョウ」が入りません。

8. 申し込み締切：2026 年 9 月 11 日（金）

9. お問い合せ：　ＩＲＳＪ事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-4-7 スタッフルームタケムラ有限会社内
TEL:03-5287-3801 FAX:03-5287-3802
E-mail: rssympo@staffroom.jp （担当：竹村）